

# 男女の旅行意識に対する違いを調べるアンケート 報告書

|    |        |
|----|--------|
| 班員 | 佐藤 美咲  |
|    | 上野 雄一朗 |
|    | 山本 亜希  |

## 目次

1. 調査動機
  2. 調査日時等
  3. 調査内容の結果・考察
    - (1) プロフィール
    - (2) 設問 A に対する考察
    - (3) 設問 B に対する考察
    - (4) 設問 C に対する考察
  4. 考察に対する私達の考え・まとめ
  5. 私たちが考える男子・女子学生別に見る理想の彼女・彼氏との旅行プラン
  6. 集計票原本
- 

### 1. 調査動機

今回私達がこのテーマを選んだのにはいくつかの理由がありますが、大きな理由は『夏休みが近い』という事です。班で今度の夏休みをどのように過ごすかという事を雑談したときに、男子と女子とでは過ごし方などに少し差異があるような印象を受けたのです。さらに、雑談を重ねてその差異の多さを感じるうちに、男子学生と女子学生の違いというテーマを設けてアンケートをとる事がほぼ決まりました。さらに、囲の設定が広くて自分たちでも方向性を見失いかけたときに、班の女子が旅行の話をするのにヒントを得て、今回は旅行に関する男女の違いを探っていこうと決めました。夏休みが近く、学生達の意識がそちらに向いている今、調査を実施しやすいと思ったのも一因です。

### 2. 調査日時等

調 査 日：2004 年 6 月 23 日(水)～7 月 7 日(水)

調査場所：立命館大学、琵琶湖・草津キャンパス内

調査対象：立命館大学生および大学院生

有効回答数：男子 108 名、女子 99 名、合計 207 名

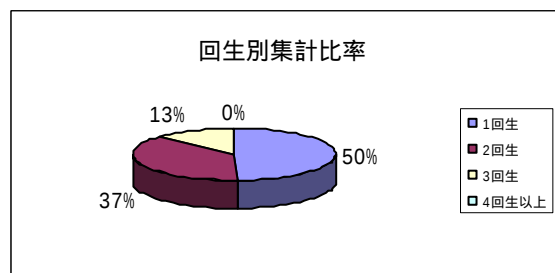
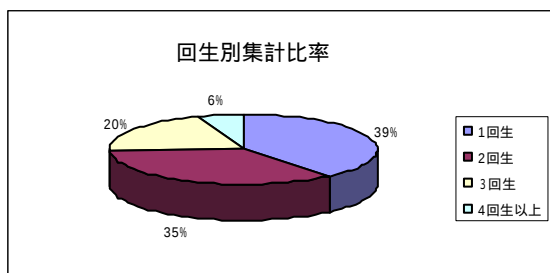
調査方法：不作為に選んだ対象者にアンケートをその場でしてもらった

### 3. 調査内容の結果・考察

まず、前提として彼氏・彼女と旅行に行くとしたらということでアンケートをとりました。

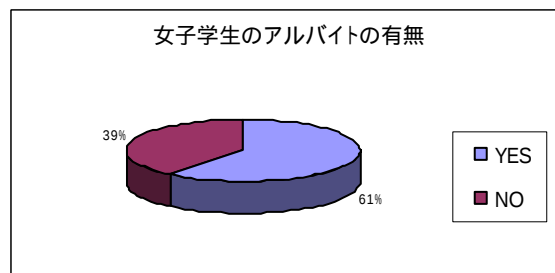
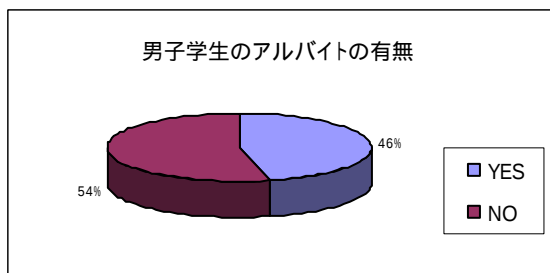
#### (1)プロフィールについて

##### 1)回生



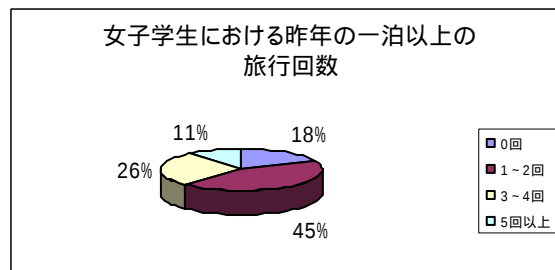
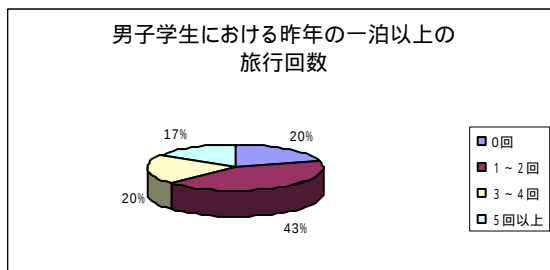
まず回生別集計比率ですが、男子女子のどちらの集計も 4 回生以上の回答率が非常に低くその点は考慮しなければならない事だとは思いますが、今回のアンケートにはそれ程の影響は出ないと思いますので考えない事にします。

##### 2)アルバイト



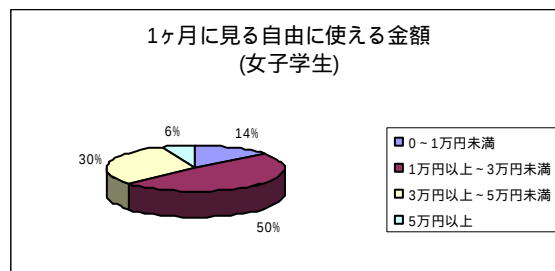
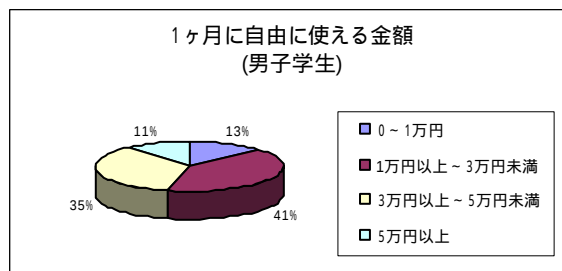
次に、男子学生と女子学生のアルバイトの有無ですが、女子学生のほうがアルバイトをしている事がわかりました。女子学生のほうが金銭的な事に対して積極的に動くという傾向が読み取れると考えます。

##### 3)旅行回数



次に、男子学生・女子学生における昨年の一泊以上の旅行回数ですが、男女ともに大きな相違は見られませんでした。やはり学生と言う事もあって、年の旅行数は 1～2 回が妥当なようです。

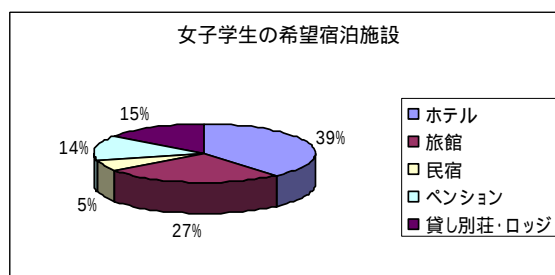
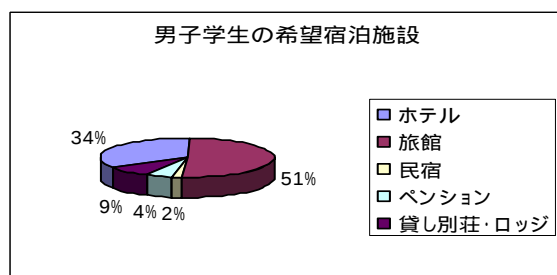
#### 4)1 ヶ月に自由に使える金額



最後に、1 ヶ月自由に使える金額と言う事ですが、前提として生活費などを除き自分のために使える金額を聞きました。ここでは違いが見られました。全体的に、男子学生の方が自分のために使える金額が多いようで、3 万円以上使える男子学生は合計 46%にもなりました。その点、女子学生は 1 万円から 3 万円未満が多いようです。しかし、先ほどアルバイトの有無と比べると、女子学生はアルバイトをしている人が多いのに対し自由に使っていないと言う事でしょうか。

#### (2)設問 A について

1)宿泊施設はどのようなものを選び、その施設にどのような付加価値やサービスを求めるのかについて、男子学生と女子学生の違いを見ていきます。



男子学生と女子学生では希望宿泊施設にかなりの差が見られます。男子学生が彼女と旅行する際に泊まりたい施設は『旅館』が約半分の 50%を占めていて、その次に『ホテル』が約 40%です。女子学生が彼氏と旅行する際に泊まりたい施設は『ホテル』が約 40%を占め、次に『旅館』で約 30%を占めます。

まず男子学生について見ていきます。

男子学生の希望宿泊施設について回答数が 1 番多かった『旅館』を選んだ人たちについて「同じところに 2 泊以上宿泊するとして、どういう施設を選びますか。」の設問に対する回答を見ると、まわりの自然環境がよい施設を選ぶと答えた人は約 60%で、また 料金の安い施設を選ぶと答えた人は約 60%になりました。以上のことから、男子学生は料金の安い自然環境のよい施設で彼女と宿泊したいと考えているようで、宿泊施設自体を楽しむというよりは、旅館の外側を楽しむ傾向があるようです。また、ホテルを選んだ人に対する設問で「宿泊施設に必要だと思うサービス」を聞いたのですが、意外にもあまりサービスについては明確な要望はないようでした。これは現行のホテルのサービスが行き届いて

いるせいで不便さを感じていないか、宿泊施設に注目するよりも外に出て行動しているの方に旅行の重点を置いているからかでしょうか。また、そのようにあまり望むサービスはないものの、客室の広さ・綺麗さというサービスはホテルを選んだ方の約 45%の人が必要だと感じているようです。

次に女子学生について見ていきます。

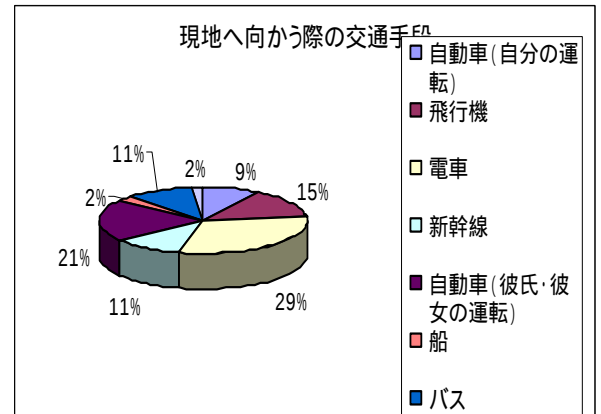
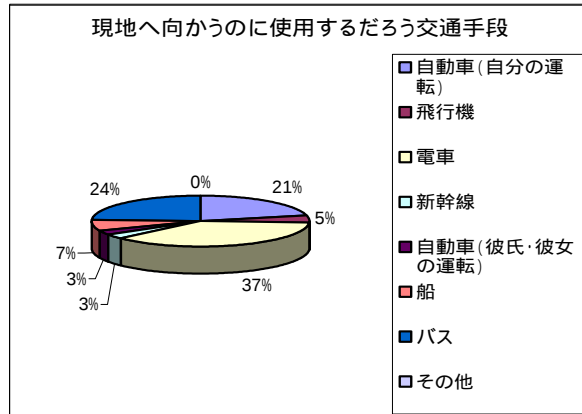
女子学生の希望宿泊施設について回答数が 1 番多かった『ホテル』を選んだ人たちについて「同じところに 2 泊以上するとして、どういう施設を選びますか。」の設問に対する回答を見ると、料金の安い施設を選ぶと答えた人は約 45%で、また料理のよい施設を選ぶと答えた人は約 41%になりました。以上のことから、女子学生は宿泊施設に安くて質のよいものを選ぶ傾向にあり、彼氏とは施設自体は安くても、中身を楽しもうとする傾向があることがわかります。また、ホテルを選んだ人に対する設問で「宿泊施設に必要だと思うサービスを」を聞くと、圧倒的に客室の広さ・綺麗さを必要だと感じていることがわかりました。ホテルを選んだ女性の役 88%がそう答えることから、旅館自体のハード面を女性は重要視する傾向にあるようです。その他ホテルのソフト面のサービスについては意外と反応が薄いことからそのことがさらにわかります。

以上見てきたことを総合して考えると、男子学生と女子学生の宿泊施設に対する意識の違いがある程度読み取れました。それは、宿泊施設を単なる休息をとる場所と考えるか、旅行の一部として考えているかの違いのように感じます。男子学生の場合は、宿泊施設を旅行の一部と考えているようで、宿泊施設を近代的な雰囲気とは違う旅館という場所に泊まり、さらにいつもは見ることでできない自然環境に身をおくことで非日常を彼女と楽しみ、宿泊という行動を演出し旅行のひとつのオプションとして考えていると思いました。

一方女子学生を見ると、宿泊施設を旅行とは切り離していると私は感じました。それは、女子学生の宿泊施設に必要なサービスを見てみるとわかりますが、女子学生はハード面を一番に重要視するからです。料理の質を求めるあたりに女子学生の観点からの旅行における宿泊施設の楽しみ方が出ていますが、男子学生に比べると宿泊という行動をあまり旅行の一部と考えていないように感じます。

### 3) 設問 B について

旅行に行く際の交通手段として何を利用するかという点について、男女の意識の違いについてみていきます。



現地に向かう際の交通手段について調べました。

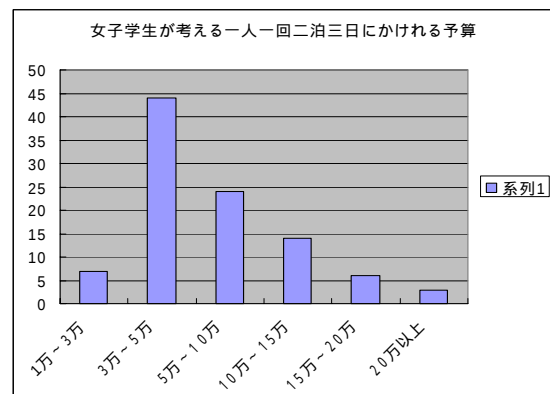
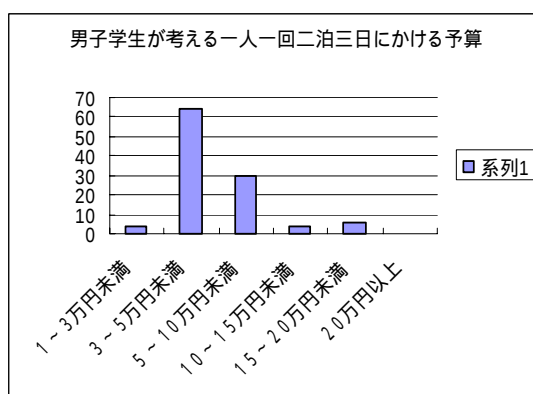
はじめに男子学生について見ていきます。男子学生については電車が37パーセントで1位でした。次にくるのは21パーセントの自分の運転という項目です。あとに述べますが、女子学生へのアンケートで彼氏の運転という項目が15パーセントで3位に入っていることから、このあたりの意識は共通しているような気がします。

次に女子学生については、私たちは彼氏の運転する車という項目が1位にくるのではという予想をたてていましたが、結果は1番多いのが29パーセントの電車ということでした。自分の運転という項目が21パーセントで2位にきています。これは私たちにとって意外なことでした。彼氏の運転という項目は3位にはいっていません。

### 4) 設問 C について

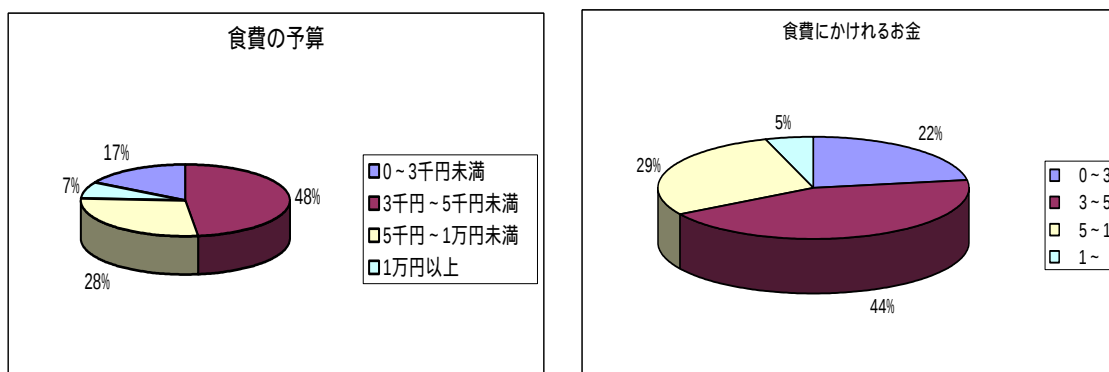
旅行にかかる予算について、四つの項目別に男女の違いを比べていきたいと思います。

#### 1) 一人一回二泊三日にかけられる予算



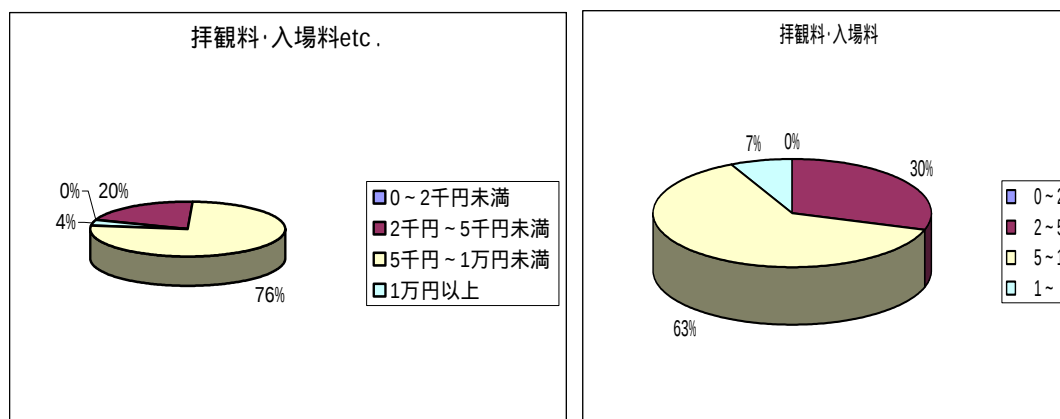
この項目は男女共に3万円～5万円未満の人が大半を占めていますが、20万円以上はだせない男子学生に比べて20万円以上だせる女子学生が3人いました。グラフを見てみると、女子学生のほうが旅行自体にかけられるお金は惜しまないように思います。

## 2) 食費にかけられる予算



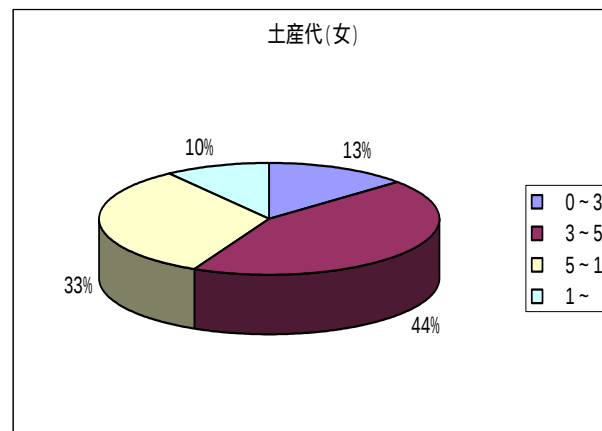
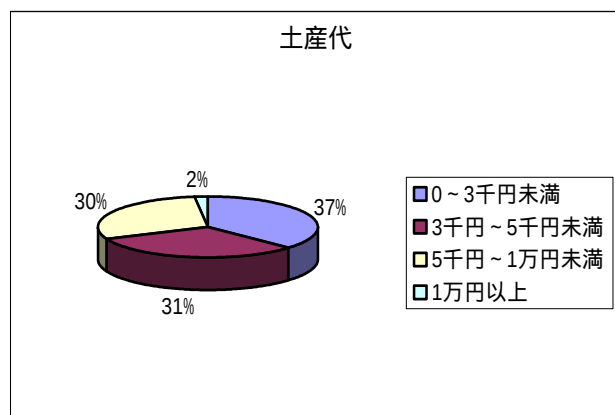
食費のほうも男女共3千円～5千円未満が約半分を占めています。他の金額も大体割合は一緒なので大した違いは見られませんでした。私達は初め男子学生のほうが食べる量も多いし、食費だけはかけるという概念があったので食費にかけられる金額が平均的に高い事を予想していましたが、これが違った点でした。

## 3) 拝観料、入場料にかけられる予算



この項目も男女共に5千円～1万円未満の人が大半を占めていますが、男子学生のほうが若干多いです。これを見ていると、彼女の分も出してあげる男子学生がいるのではないかと思います。さすがに0円～2千円という解答はありませんでした。やはり旅行に行くからには拝観料、入場料などは惜しまず使う人が多い気がします。

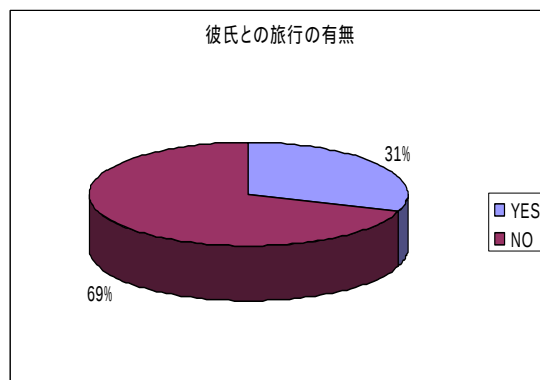
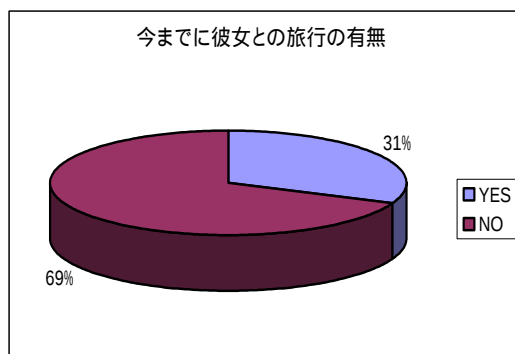
#### 4) 土産にかけられる予算



この項目は大きな違いがでました。男子学生は0円～3千円未満の人が37%で一番多く、女子学生は3千円～5千円未満が44%で一番多かったです。しかも、女子学生の0円～3千円の項目は13%と非常に少なく、1万円以上土産代にかけられる女子学生は10%もいました。男子学生で1万円以上かけれる人は2%とでているので、土産代は女子学生のほうが圧倒的にお金をかけていると思います。私達も、女子学生のほうが多いのではないかと踏んでいたのも、予想通りでした。ただ反省点として、このアンケートをとった際に誰への土産を買うのかという項目を作ったら、男女の違いがもっと出たのではないかと思います。

以上の事から、全体的に大きな違いは見られませんでした。女子学生のほうが高額を支払えるという結果になったと思います。彼氏、彼女と行く旅行なので男子学生のほうが全体的に多いだろうという予想は大体合っていましたが、女子学生のほうが幅広くお金をかけていると思いました。男同士や女同士で行く旅行に比べたら、頑張ってお金をかけている男子学生が多いのではないかと思います。

(番外編)最後に今までに彼氏・彼女と旅行したことがあるかどうかを聞いてみました。



男子学生、女子学生ともにしたことのある人が31パーセントと予想に反して少なく、  
したことの無い人が69パーセントを占めました。  
この項目に関しては、男女が全く同じ数字だったことに驚きました。

# まとめ

このアンケートをとることを決めた時、班員の中で、夏休みの過ごし方についてという話題になりました。その中で男女の旅行に対する意識の違いに驚き、興味をもちました。例えば、女子学生は旅行に行く時の必需品としてお菓子をあげましたが、男子学生はそんなもの荷物になるからと否定しました。そういう違いをもっと知りたくてこの調査を実施しましたが、結果としてはあまり差がでませんでした。

まず設問 A について見ていきます。あまり差が出なかった中で、希望宿泊施設にはかなりの差が見られました。男子学生が彼女と旅行する際に泊まりたい施設は『旅館』が約半分の 50% を占めていて、その次に『ホテル』が約 40% です。女子学生が彼氏と旅行する際に泊まりたい施設は『ホテル』が約 40% を占め、次に『旅館』で約 30% を占めます。

先にも述べましたが、女子学生はハード面を一番に重要視するからではないかと思います。また、男子学生に比べると宿泊という行動をあまり旅行の一部と考えていないように感じます。

設問 B についてです。ここでは、交通手段について調査しましたが、男女の差はあまり出ませんでした。両者とも電車で行くという項目を選んだのは、値段が安いという理由や、景色を楽しみたいという理由からだと思います。女子学生は、電車の中でお弁当やお菓子を食べることも楽しみにしているようです。

次に設問 C についてです。まず反省点としてこのアンケートをとった際に誰への土産を買うのかという項目を作ったら、男女の違いがもっと出たのではないかと思います。しかし女子学生については、1 万円以上土産代にかけられるという人もいました。

最後に学生のうちはお金がないので、あまり旅行に行こうという話にはならないのだということが分かりました。それならば、旅行以外の夏休みの過ごし方を、男女別に調べてみてもおもしろいのではないかと思います。

# ♪理想の旅行プラン♪

彼氏、彼女と一緒に電車で GO ♪ ♪

30,000 ~ 50,000 円

二泊三日 → 泊目はホテルでテーマパークの入場料 8,000 円込

泊目は旅館で温泉入りたい放題 ♪

食事は和食のフルコース 4,000 円込

移動はもちろん電車で ♪

そのために！

彼女に負けないくらいバイトをしよう男性諸君

ブラッと一人旅！

~ 新しい恋を探すために ~

8,000 円 ~ 15,000 円

二泊三日 → 泊とも民宿 ♪ (愛を深めるために)

食事は自炊ができる ♪

移動はもちろん電車で ♪ (レンタカーもつけられるよ ♪)